

「新しい東北」官民連携推進協議会  
令和元年度  
福島県意見交換会(第2回)

事務局提出資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局  
2019年9月10日

# ● 目次

---

1. 意見交換会の概要
2. 第1回意見交換会・事後調整の結果
3. 第2回意見交換会の検討事項
4. スケジュール

<参考資料>

- 岩手県意見交換会の検討事項
- 宮城県意見交換会の検討事項

# ● 1. 意見交換会の概要 — 目的・今年度の方向性

第1回資料再掲

本協議会では意見交換会を、復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を互いに共有し、地域の課題解決に向けて協議・協働を生み出す場と位置付けています。

今年度は特に、副代表団体以外の会員団体の巻き込み・議論の活性化・団体の活動につながる成果創出に注力します。

## 意見交換会の目的

復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を共有し合うとともに、地域の課題解決に向けた、多様な主体による協議・協働を生み出すこと

## 意見交換会の取組に対するご意見<sup>\*1</sup>

- 民間のパワーを巻き込み、関連するものを具体的なテーマとして扱えると良い
- アイディアだけでなく具体的なアクションに繋げたい
- 地域でチャレンジをしている人を、各会員の持つ支援メニューを活用してサポートするスキームが必要
- 地域振興に携わる方等にも関与してもらえると良い

## 実施上のポイント

会員団体の巻き込み  
(横の連携)

議論のさらなる活性化

団体の活動につながる  
成果の創出

## 令和元年度 意見交換会の方向性

- ✓ テーマに関する会員団体（「連携対象団体」）に意見交換会へ参加してもらい、地域課題解決に向けた議論や「実践の場」の企画に共同で取り組む。
- ✓ 参加団体<sup>\*2</sup>や連携対象団体の活動をより深め・広げるための活動を「実践」と定義し、意見交換会の成果として自立的・継続的な「実践」を生み出す。

\*1: 3県の第3回意見交換会内の発言を一部引用

\*2: 副代表団体およびオブザーバーとして参加いただく団体

# ● 1. 意見交換会の概要 — 過去2年間の経緯

第1回資料再掲

過去2年間の意見交換会では、地場産業等の人材不足対応策（特に、暮らし方・働き方の理解促進）をテーマに議論を展開。

今年度以降もテーマは継続し、取組を拡大・深掘りすることが必要、との意見が挙がっておりました。

平成29年度

人材×日本酒

第1回

- 趣旨説明
- 活動紹介

第2回

- 活動紹介
- テーマ議論

第3回

- 活動紹介
- テーマ議論

第4回

- 活動紹介
- 調査内容の検討

福島県産品・伝統工芸品のPR

第5回

- 活動紹介
- 調査結果を議論
- 来年度テーマの検討

平成30年度

食・観光・伝統工芸など  
地場産業の担い手確保

第1回

- 趣旨説明
- 活動紹介
- 当年度のテーマの検討

第2回

- 活動紹介
- テーマ議論
- イベント内容の検討

「ふくしまキャリア探求ゼミ」  
福島県にU/Iターンをして新たな生活・仕事  
のスタイルを確立した先駆者の実体験を伝え、  
理解を深めてもらうためのワークショップ

第3回

- 活動紹介
- イベントの振り返り
- 来年度以降のテーマ案検討

今年度以降のテーマ案

福島県で働く人を増やすため、平成  
30年度と同様、福島県での暮らし  
方・働き方に関する理解促進をテー  
マに取組を行う。これまでの取組と  
の連続性を持たせる。

〈取組の具体案〉

- よりヒーロー像を広くして「身近  
なヒーロー」も知ってもらう  
(業種・職種、所属組織の規模を  
変える)
- ヒーロー候補者のリスト化・公表  
を行い、多くの人に知ってもらう
- 話を聞くだけでなく、現場を見る  
経験もしてもらう

# ● 1. 意見交換会の概要 — 今年度の進め方

第1回資料再掲

昨年度同様、全3回の意見交換会と「実践の場」を開催予定です。

テーマに関わりの深い「連携対象団体」に第2回の議論から参画いただくことで、地域でチャレンジしている人を巻き込んだ「実践の場」の企画や、「実践」の継続を目指します。

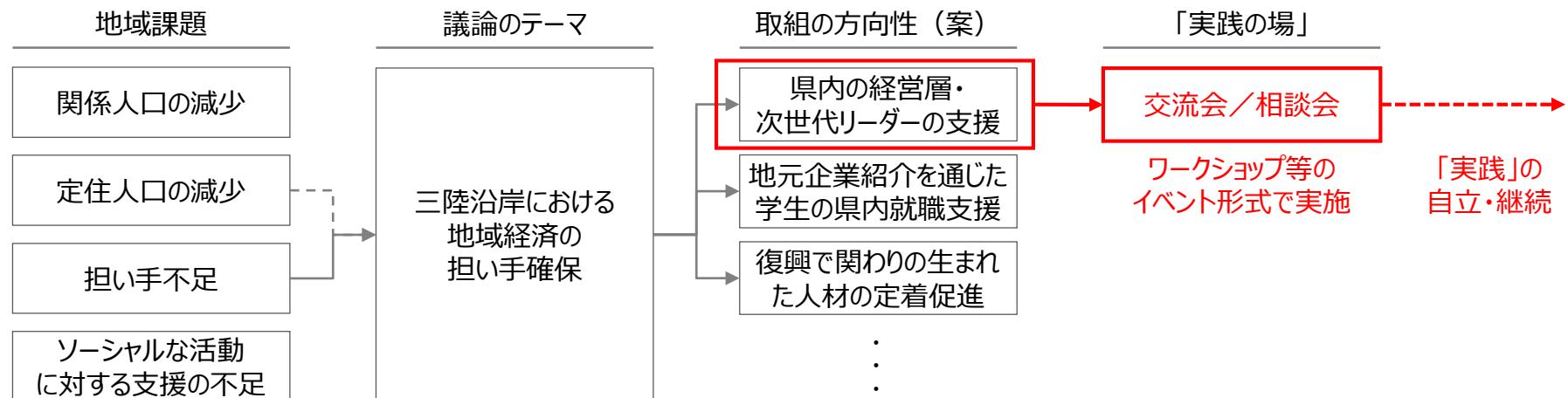
	実施事項（案）	取り組みのポイント
第1回	<ol style="list-style-type: none"><li>意見交換会の趣旨、過去経緯（他県含む）の説明</li><li>今年度の方針説明</li><li>参加団体の今年度活動内容の紹介</li><li>今年度テーマの検討（連携対象団体の検討含む）</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ テーマを決定するとともに、第2回以降から参画してもらう連携対象団体についても議論する</li></ul>
第2回	<ol style="list-style-type: none"><li>参加団体の活動紹介</li><li>連携対象団体によるプレゼンテーション等</li><li>テーマ議論</li><li>「実践の場」の内容検討（連携対象団体を企画時から巻き込む）</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 連携対象団体より、現在の活動内容やテーマに対する問題意識・展望などについて共有してもらう</li><li>✓ 上記を踏まえて、地域でチャレンジをしている人を巻き込んだ「実践の場」や連携の在り方を議論する</li></ul>
実践の場	「実践の場」の詳細設計～開催～結果整理	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 会員団体の生業（活動）を深化・拡大させることや、継続的なアクションに繋げることを目的とする</li></ul>
第3回	<ol style="list-style-type: none"><li>参加団体の活動紹介</li><li>「実践の場」の振り返り、今後の展望の議論</li><li>来年度以降のテーマ案の検討</li></ol>	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 「実践の場」の振り返りに加え、今後の活動や体制を、自立的に継続させるための議論を行う</li></ul>
終了後	「実践」の継続	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 意見交換会終了後も「実践」の継続を目指す</li></ul>

## ● 【参考】「実践の場」について

意見交換会の議論をもとに、地域課題解決に向けた取り組みを試行することが「実践の場」の目的です。イベント開催に係る費用等を支援いたします。

「実践の場」の概要	
目的	意見交換会の議論の中で挙がった、地域課題解決に向けた取組（解決策）を試行すること
活用できる リソース	ワークショップ等のイベント開催に係る以下については復興庁※が支援する <ul style="list-style-type: none"><li>・開催費用（会場費、備品代、外部講師への謝金・交通費など）</li><li>・集客（協議会ポータルサイト・Facebookページなどを活用）</li><li>・司会／ファシリテーターの手配</li></ul>

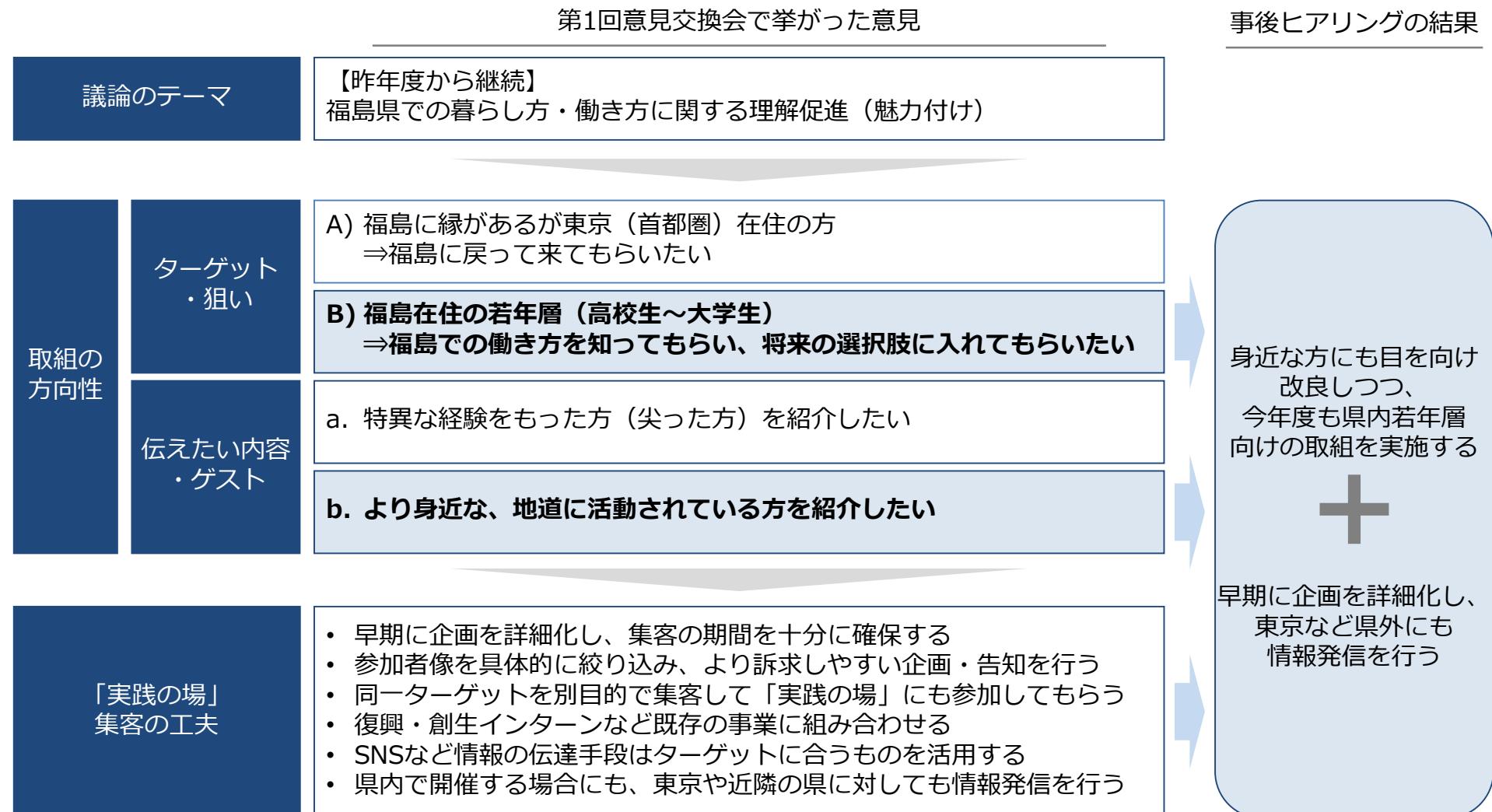
#### ■「実践の場」の考え方（イメージ）



※復興庁「「新しい東北」の創造に向けたワークショップ企画等業務」の受託事業者(NECソリューションイノベータ社)が実施

## ● 2. 第1回意見交換会・事後調整の結果

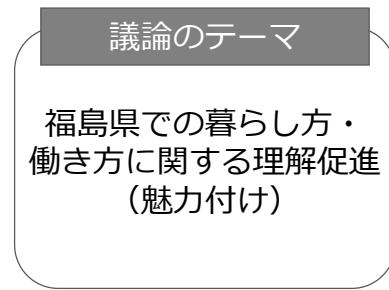
第1回意見交換会では、テーマを継続することが決定し、取組の方向性について意見交換を行いました。事後ヒアリングを踏まえ、福島在住の若年層向けにより身近な・地道に活動している方を紹介する方向とすることになりました。



### ● 3. 第2回意見交換会の検討事項

これまでに決定した内容をもとに、本日はさらに「実践の場」の詳細を検討します。

これまでに決定した事項



取組の方向性

福島在住の若年層向けにより身近な・地道に活動している方を紹介する

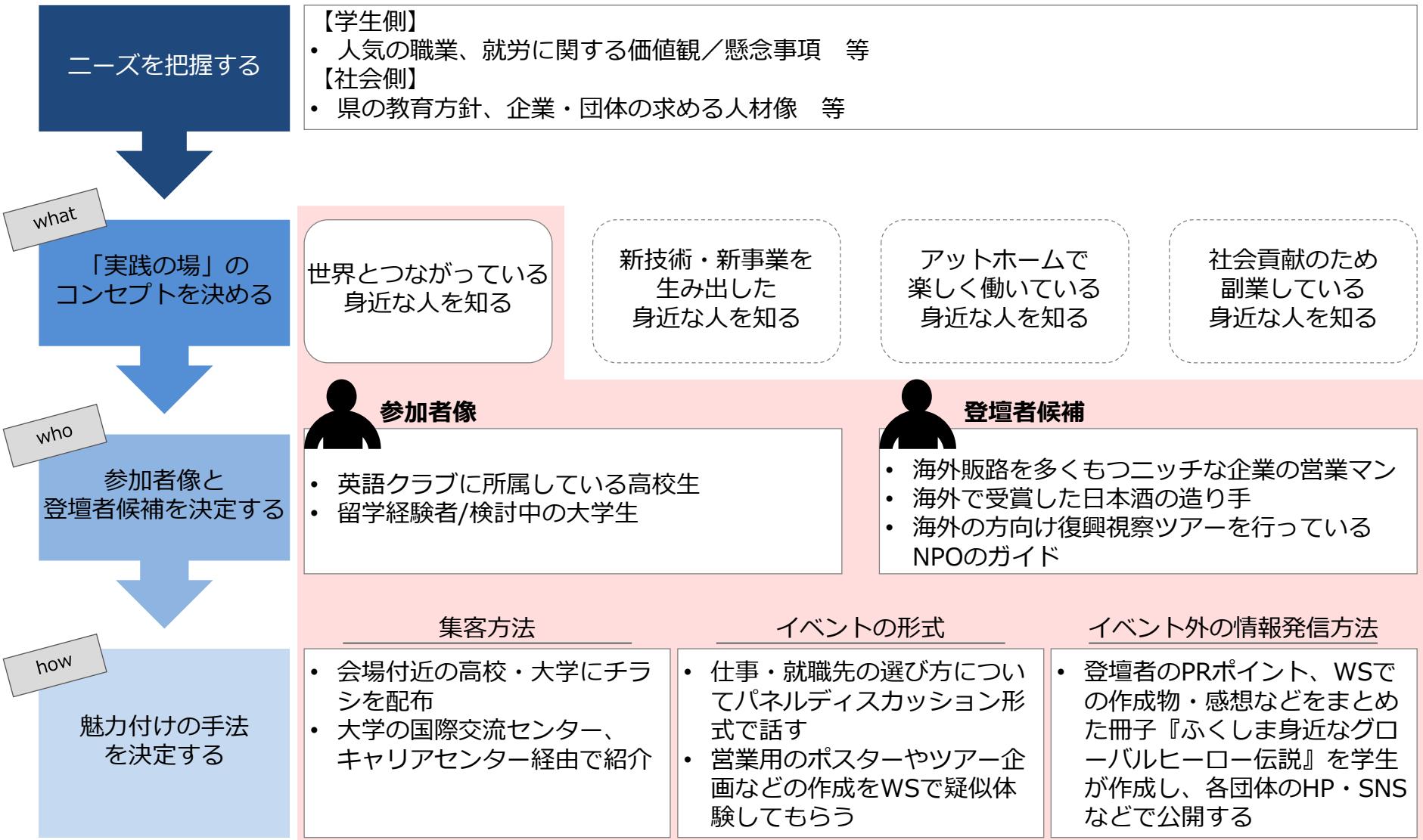
第2回意見交換会での検討事項

取組の詳細

「実践の場」の詳細

目的 (why)	・ 福島県での暮らし方・働き方に 関する理解促進	→ (開催目的=参加メリット)
対象者 (who)	・ 福島在住の若年層 (高校生～大学生)	→ (参加者の具体的な属性など)
実施主体 (who)	・ 福島在住で、より身近な、地道 に活動されている方	→ • 意見交換会参加団体+連携対象 団体+登壇者（未定）
内容 (what)	・ 福島県内の暮らし方・働き方 の紹介	→ (コンテンツ、伝える内容)
手法 (how)	・ 若年層に対して直接、暮らし方 ・働き方を話して伝える	→ (イベントの形式、その他手段)
場所 (where)	・ 福島県内	→ (開催場所、会場名)
時期 (when)	(実施時期)	→ (開催日時)

### ● 3. 第2回意見交換会の検討事項 ー 例：学生と社会のニーズから考える



# ● 【参考】学生と社会のニーズ

高校生向けアンケート結果

■ 人気職業（単一回答）*1		■ 将来働くことについて 気がかりなこと（複数回答）*2	
1. 公務員	5.2%	1. 働きたい職業に就けるか	53%
2. プログラマー	4.7%	2. 十分な収入が得られるか	50%
3. 教師・先生	4.5%	3. 職場の人間関係がうまくいくか	44%
4. 看護師	3.2%	4. 就きたい職業が思いつくか	34%
4. エンジニア・技術者	3.2%	5. そもそも就職できるか	31%

大学生向けアンケート結果

■ 志望業界（複数回答）*3		■ 職業観（単一回答）*4	
1. 医薬品・医療関連・化粧品	18.5%	1. 楽しく働きたい	38.6%
2. 水産・食品	17.7%	2. 個人の生活と仕事を両立させたい	24.4%
3. 素材・化学	17.2%	3. 人のためになる仕事をしたい	12.1%
4. 調査・コンサルタント	16.8%	4. 自分の夢のために働きたい	10.2%
5. 調査・インターネットサービス	16.7%	5. 収入さえあればいい	5.0%

第6次福島県総合教育計画 \*5

基本理念	“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり
基本目標 1	知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
①	子どもたちの豊かなこころ
②	子どもたちの健やかな体
③	子どもたちの生き抜く力を支える「確かな学力」
④	望ましい勤労観・職業観
⑤	障がいのある子どもたちが「地域で共に学び、共に生きる教育」
⑥	高度情報化社会を主体的に生きていく力
⑦	国際化の進展に対応できる人づくり
⑧	公立大学での、社会をリードし、地域に貢献する人づくり

\*1：「高校生白書（2018年9月調査）」（学研教育総合研究所、2018年）

\*2：「第8回 高校生と保護者の進路に関する意識調査」（一般社団法人全国高等学校PTA連合会・株式会社リクルートマーケティングパートナーズ、2018年）

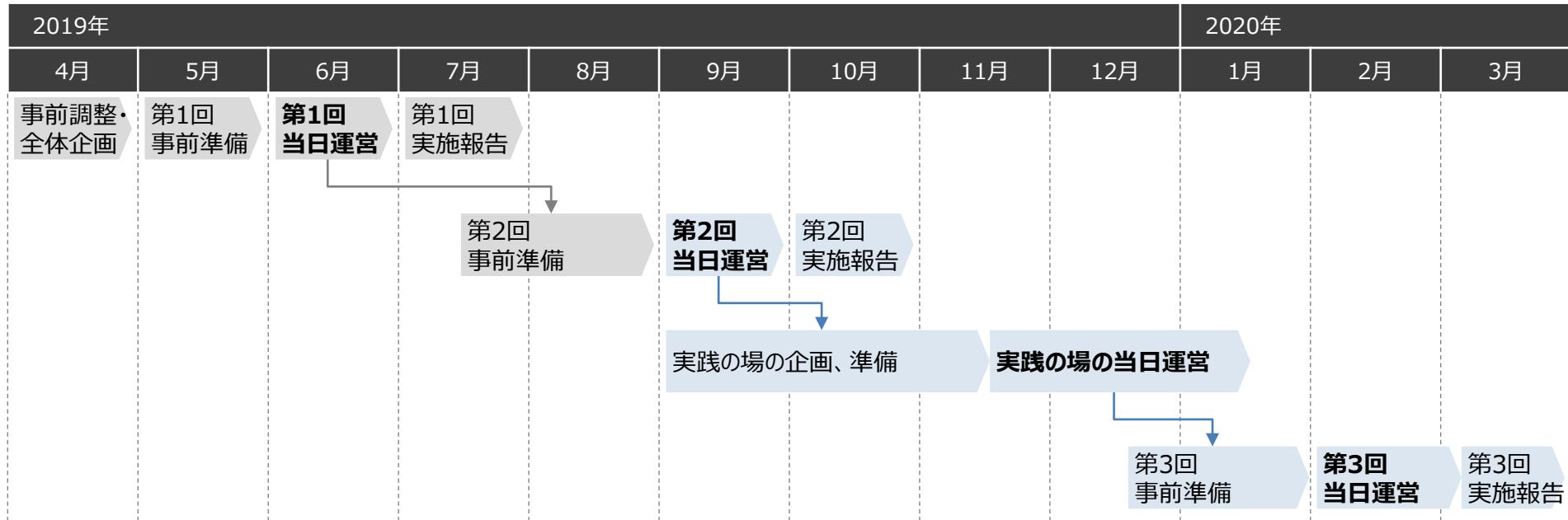
\*3：「2020年卒11月後半時点での就職意識調査」（株式会社ディスク キャリタスリサーチ、2018年）

\*4：「2020年卒マイナビ大学生就職意識調査」（株式会社マイナビ、2019年）

\*5：「第6次福島県総合教育計画 2019年度アクションプラン」（福島県・福島県教育委員会、2019年）

## ● 4. スケジュール

意見交換会および実践の場は、以下のスケジュールで推進予定でございます。



(凡例)

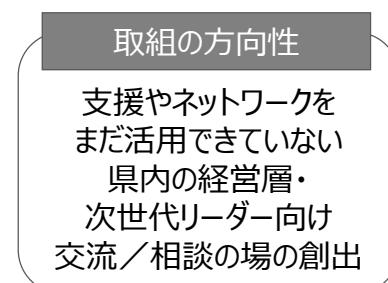
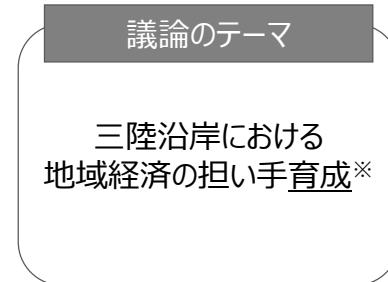
完了

未完了

## **參考資料**

# ● 岩手県意見交換会の検討事項

これまでに決定した事項



第2回意見交換会での検討事項

取組の詳細

「実践の場」の詳細

目的 (why)	• アーリーステージの経営層を支援することで、担い手の育成に貢献	(開催目的＝参加メリット)
対象者 (who)	• 支援やネットワークを活用できていない経営層・次世代リーダー	(参加者の具体的な属性など)
実施主体 (who)	(取組の実施者)	• 意見交換会参加団体 + 連携対象団体 + 登壇者（未定）
内容 (what)	(交流や相談を通じて与えるもの／伝えるもの)	(コンテンツ、伝える内容)
手法 (how)	• 経営層・次世代リーダー同士の交流や、支援機関等への相談の「場」をつくる	(イベントの形式、その他手段)
場所 (where)	• 三陸沿岸地域	(開催場所、会場名)
時期 (when)	(実施時期)	(開催日時)

# ● 岩手県意見交換会の検討事項 一 例：経営層が抱える悩み

## ■ 経営層・次世代リーダーが抱える悩みの分類（支援対象者別、支援を受けられていない理由別）

		支援対象者（経営層・次世代リーダーの分類）					取組内容（案）
		経営層		次世代リーダー			
	ベテランの 経営者	承継直後の 経営者	創業初期の 経営者	右腕人材	起業準備中		
支援を受 けられ てい ない 理由	相談相手が いない	✓ 他社への人材 流出防止 ✓ コンプライアンス 対応	✓ 承継に関わる 人間関係の問題	✓ 人材確保 ✓ 組織設計	✓ 承継に関わる 人間関係の問題	✓ 人材確保 ✓ 組織設計	同じ悩みをもつ経営層 又は克服経験のある 経営層との交流
	支援策・ 枠組みを 知らない	✓ 新規事業立案 ✓ 販路開拓	✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓	✓ 事業計画策定 ✓ 販路開拓	✓ 承継準備	✓ 事業計画策定	各経営層の状況に 合った支援策・枠組み の紹介
	支援策・ 枠組みの 対象外		✓ システム刷新	✓ 資金調達 ✓ 広報		✓ 資金調達 ✓ 広報	既存の支援策・枠組み の隙間を埋める新たな 支援の提供
	支援の必要 性に気づいて いない	✓ 雇用・労働条件 の見直し	✓ 雇用・労働条件 の見直し	✓ 雇用・労働条件 の見直し		✓ 自社の魅力の 客観的な分析	支援側が連携して経営 層に対して啓発
	⋮						

# ● 宮城県意見交換会の検討事項

これまでに決定した事項

ありたい姿  
官民連携による、  
東松島市のSDGsの達成

議論のテーマ

東松島市の観光に携わる  
団体の担い手不足解消

取組の方向性

東松島市の観光関連の  
団体に対して、  
市内外の団体 / 人材やIT  
技術とのマッチングを支援

第2回意見交換会での検討事項

取組の詳細

「実践の場」の詳細

目的  
(why)

- SDGs達成に向けた取組強化
- 観光関連の担い手不足解消

(開催目的＝参加メリット)

支援対象  
(who)

- 東松島市の観光に携わる団体

(参加者の具体的な属性など)

実施主体  
(who)

- 市内外の団体／人材

・ 意見交換会参加団体 + 連携  
対象団体 + 登壇者 (未定)

内容  
(what)

- 担い手不足解消に資する、人  
材や技術などのマッチング

(コンテンツ、伝える内容)

手法  
(how)

- マッチングの「場」をつくる

(イベントの形式、その他手段)

場所  
(where)

- 東松島市

(開催場所、会場名)

時期  
(when)

(実施時期)

(開催日時)

※採用など「人」による対応だけでなく、技術や情報などの活用も含めた、人手不足解消の支援

※SDGsと本取組の関係性：取組自体がGoal #8,#12に関連し、また自然環境の保護・案内を担う団体も支援する意味でGoal #14,15にも間接的に貢献

# ● 宮城県意見交換会の検討事項 一 例：旅行者のアクションから考える

## ■ 旅行者来訪時のアクション（支援対象の分野別に整理）

